

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 1 年度第 3 回 小金井市地下水保全会議
事 務 局	環境部環境政策課環境係
開 催 日 時	平成 2 2 年 2 月 2 6 日 (金) 午後 3 : 0 0 ~ 5 : 0 0
開 催 場 所	旧消防署暫定第八会議室
出 席 者	別紙のとおり
傍 聴 の 可 否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍 聴 者 数	3 名
会 議 次 第	1 開会 2 議題 (1) 前回の会議録の確認について (資料 1) (2) ボーリング調査データについて (資料 2) (3) 湧水と水生生物調査報告 (資料 3) (4) その他 ①梶野公園井戸設置について ②公務員宿舎小金井住宅新築工事箇所井戸について ③その他 3 次回の地下水保全会議の日程について
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料は、情報公開コーナー、図書館、議会図書室にある議事録に添付してあります。
そ の 他	

平成21年度第3回 小金井市地下水保全会議

議事録

日 時：平成22年2月26日(金)15:00～17:00

会 場：旧消防署暫定第八会議室

■ 出席者

(委員)	小倉 紀雄 会長	土屋 十圀 委員
	風間 ふたば 委員	齊藤 祐磁 委員
(欠席者)	山田 啓一 副会長	
(事務局)	環境政策課 石原課長	環境係 立川主任
	環境係 吉崎副主査	環境係 板本
(傍聴者)	3名	

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 前回の会議録の確認について(資料1)
 - (2) ボーリング調査データについて(資料2)
 - (3) 湧水と水生生物調査報告(資料3)
 - (4) その他
 - ①梶野公園井戸設置について
 - ②公務員宿舎小金井住宅新築工事箇所井戸について
 - ③その他
- 3 次回の地下水保全会議の日程について

■ 審議経過(議事録)

- 1 開会

小 倉 会 長： これより開会します。

- 2 議題

- (1) 前回の会議録の確認について

小 倉 会 長： 前回の会議録ですが、確認していただいて、何かあれば来週の金曜日までに事務局まで連絡するということによろしいでしょうか。

では、お願いします。

- (2) ボーリング調査データについて

- 小倉会長： では、次の議題に入ります。
事務局から説明をお願いします。
- 立川主任： 資料2について説明を行った。(説明内容省略)
礫層は破らないと思います。
地下水の流れとしては、どちらを向いているのですか。
12月に測定していますが、水位が6.3メートルということは、浅い水でしょうか。
- 土屋委員： 浅いほうですね。12月ですと下がった状態だと思います。
- 小倉会長： はい。
杭は、深さが8メートルで32本、12月の水位が6.3メートルということですね。場所はJR中央線の南側ということですよ。
- 立川主任： 梅林だったところなので、全面がコンクリートになってしまうと、雨が浸み込む場所がなくなってしまいます。
- 小倉会長： そうですね。
- 土屋委員： 大きいマンションのようですが、雨水の貯留、浸透施設はどうなっていますか。
- 立川主任： 下水道のほうで、全部いれていただきます。
- 土屋委員： 敷地内の緑化なども義務付けられていますか。
図を見ると、5割くらいは空き地というか、駐車場などになるのでしょうか、そういうところはどうか。
- 石原課長： 敷地面積から建物面積を除いた面積の20%以上の緑化というのを基準にしていますが、基準は達成しているという計画になっています。
- 小倉会長： 20%くらいは残るということですね。
- 立川主任： 敷地を囲むように156本の木を植えるということで、20%になるということですよ。
- 土屋委員： 駐車場などはどうですか。
- 立川主任： 浸透アスファルト舗装となっています。
- 土屋委員： 浸透アスファルト舗装というのは、目詰まりをよく起こすのですね。ですから、芝生などが間から出るような形にするといいのですね。ヨーロッパで多くあります。アスファルトはどうしても目詰まりしてきます。
そういうこともぜひ研究して、取り入れて欲しいですね。
- 小倉会長： そうですね。せっかくですから、駐車場も浸透しやすいものを考えていただければいいですね。
- 土屋委員： これは、建物の屋根に降ったものは、全部浸透するわけですか。
- 石原課長： そうですね。全量浸透しているので、屋根に降ったものはすべて地中に入ります。
- 小倉会長： 緑地が無くなるのは残念ですが、できるだけ雨水を活かせるようにしていただけるようお願いします。
- 立川主任： 土屋委員のお話の舗装方法というのは、普及しているのでしょうか。
- 土屋委員： 公園などには多いのですが、アスファルトの方が施行が簡単なので、ど

うしても民間がつくるマンションなどには少ないですね。

位置的には、中央線に沿ったところの南側ですから、北西から南東方向に流れると考えると水位が高いところですね。

立川主任： 前回お話した、JR中央線の高架化に伴う雨水浸透の場所がすぐ近くに
あります。

土屋委員： はけの森美術館の真北にあたりますね。

立川主任： そうですね。農工大学の西側になります。

小倉会長： 浸透ますは、建物の中の何箇所かに配置するのですね。

石原課長： そうですね。

小倉会長： その場合と、全体的に均等に浸透する場合は、少し違うのでしょうか。
浸透率は変わらないですか。JRもそうですが、ひとつの所にまとめて浸透させていますね。均一には浸透しないわけですよ。地面に帰ることに
は違いないのですが。地下水の経年的な観測から検証するしかないでしょ
うね。

では、駐車場の舗装の件を検討して欲しいというコメントでよろしいで
しょうか。

(3) 湧水と水生生物調査報告

小倉会長： では、次の議題について事務局からお願いします。

吉崎副主査： 資料3について説明を行った。(説明内容省略)

小倉会長： ありがとうございます。

雨も少ないので、流量が少ないですね。

立川主任： 2月に、環境市民会議のかたと一緒に湧水調査に行きましたが、滄浪泉
園は少し出ている程度、新次郎池は枯れていました。貫井神社は多いとき
の10分の1くらいだそうです。ですから、3月か4月くらいには、野川
が枯れるのではないかというのが、環境市民会議の意見でした。

それだけ雨が少なかったですね。

小倉会長： そうですね。

土屋委員： 今までは、流量が少なくなると、硝酸性窒素が高くなる傾向でしたか。

小倉会長： そうですね。高いですね。

土屋委員： 測定は一年に2回ですか。何年くらいやっていますか。

吉崎副主査： まだ2年目です。

土屋委員： そうでしたか。

立川主任： 以前、昭和63年、平成元年くらいはやっていたのですが、地下水の水
質のほうの調査に移行しました。

流量など、貫井神社に関しては、東京都でずっと測っています。

土屋委員： そうですね。

測定したところは違っていても、時系列的にデータを繋げてほしいです
ね。

立川主任： 水生生物の調査などもやっていなかったのですが、地下水の条例が出来

て、地下水会議なども開くようになり、また調査が始まったところです。

土屋委員： 行政が行ったものを時系列的に残しておかないと、我々もわからないのですね。

立川主任： 今、測らせていただいている観測井戸も、東京都土木技術センターの井戸があります。市内の民家の井戸が少なくなっているのです、観測できる井戸を捜すのが少し大変で、法政大学の観測井戸なども測らせていただいています。

小倉会長： そうですね。

昔のデータと新しいデータをどこで誰がどうまとめるかというのが課題ですね。

立川主任： 生き物などについては、よく他の区市町村からどのくらいデータを取っているのかという質問がきます。調べているところが多いようです。

小倉会長： そうですか。

まとめなくても、何年のものとして残しておいていただければいいと思います。次世代の学生さんなどがまとめたりするでしょう。

ですから、基礎的なデータを積み重ねるといえるのは重要なことだと思いますので、これからもお願いしたいと思います。

これを見ると、水量の不足が心配ですね。

(4) その他

①梶野公園井戸設置について

小倉会長： それでは、次の議題について事務局から説明をお願いします。

石原課長： 資料について説明を行った。(説明内容省略)

立川主任： 水源井戸の水位測定結果は、夏と冬ということで、1月と8月のものを添付してあります。

TPで測った深さになっています。

小倉会長： かなり深いようですが、手押しポンプで上がるのですか。

石原課長： 手押しで50メートル上がるポンプが発売されているということです。ここから、自然水位が下がってしまうときつくなりますが。

小倉会長： そうですね。防災用ですから、電気も使えませんからね。少し厳しいような気がしますね。

立川主任： お示ししている水源は、180メートルなのですが、それで、55メートルのところまで上がるのでしょうか。100メートルしか掘らない井戸でも、同じ条件の水位でしょうか。ストレーナの位置などもあると思いますが、浅い水までひろってしまうということでしょうか。

土屋委員： 自然水位が58メートルですね。ストレーナをどこに切っているかでしょうね。

立川主任： 今回は詳しいところはまだわからないのですが。

土屋委員： この、梶野1号水源というのは、東京都の水道局の水源ですか。

石原課長： そうですね。東京都に移管されています。

- 土屋委員： この地質柱状図を見ると、ローム層がぜんぜん無いので、普通の、今までの小金井のものと違うような気がします。
昭和36年ですから、結構古いものですね。
- 石原課長： その当時は、小金井市で設置していたので、柱状図が昭和36年当時のものであれば、小金井市が調査したものです。
- 土屋委員： 東京都の旧土木研究所が地質の図面を持っていると思いますが、ローム層が無いのは少し変ですね。
- 小倉会長： 上のほうの赤粘土というのはローム層ではないですか。
- 土屋委員： そうかもしれませんね。10メートルのところですか。ではそうですね。ではローム層は6～7メートルくらいありますね。
- 小倉会長： ポンプが手押しで、実際自然に上がるのかどうか心配な点もありますが、防災用ということで、1本ですね。
普段は使わないのですか。
- 石原課長： 普段は自由に水を出せるように解放して、花壇の水やりにボランティアの方に使ってもらったりしたいと思います。
- 齊藤委員： 小金井市の公園には、何個か井戸がありますが、いたずらはされませんか。
- 石原課長： 一箇所、手押しポンプを付けたところは柵で囲いました。あとは、わかりにくいところにあるので、そういったことは無いです。
- 齊藤委員： 東村山市では、サッカーの的になっているらしく、毎年修理しなくてはならないということです。
- 石原課長： そうですか。
- 小倉会長： 防災用ということですから、普段は上げて散水等に使うということで、また土に戻るといいますね。
- 土屋委員： 防災用井戸というのは、多いのですか。
- 立川主任： 民間のものは、20か所前後です。行政のものは1か所です。
- 土屋委員： 普段は活用されているのですか。
- 立川主任： 東京都のものは、普段は汲み上げてはいけないのですね。小金井市や、民間の井戸でしたら、そういうことはありません。
- 土屋委員： 都内では、杉並区が多いですね。防災用井戸として、個人の井戸に補助金をつけていますね。
- 小倉会長： そうですか。
では、詳細がわかったら、またご報告をください。

②公務員宿舎小金井住宅新築工事箇所井戸について

- 小倉会長： こちらも資料がありますので、説明をお願いします。
- 吉崎副主査： 資料について説明を行った。(説明内容省略)
- 小倉会長： 建て替えて、高層になるのですね。もうできているのですか。
- 石原課長： はい。今月から入居が始まるようです。
- 土屋委員： 目的が飲用水と雑用水になっていますが、飲用水というのは珍しいです

ね。飲用水ですと、チェックしなくてははいけませんね。

立川主任： 保健所に届けて、30項目くらい調べることになると思います。

土屋委員： ようするに、非常用にということなのですね。

立川主任： そうですね。

玉川上水に近い所で、ちょうど溜まるような感じになる場所ですか。

土屋委員： JR中央線の北側ですから、北に向かって低くなっている場所ですね。

立川主任： この北側に前回お示ししました、中央大学附属中学校が出来ています。

風間委員： 地下水はたくさんある場所ですか。

土屋委員： そうですね。

北東か東の方向に行きますから、野川の方にはあまり行かないですね。

仙川の上流くらいになりますね。

立川主任： この地図の南側が仙川になります。サレジオ学園のところで、水が出なければ水はありません。

小倉会長： そうですか。

こちらの井戸は、非常時に飲用で使うということで、よろしいでしょうか。

③その他

小倉会長： では、その他ということで何かありますか。

風間委員の講演の話があった。

傍聴者より発言があった。

3 次回の地下水保全会議の日程について

小倉会長： では、次回の日程ですが、いつ頃になりますか。

石原課長： 5月頃で予定したいと思います。

小倉会長： 皆さん、金曜日の3時頃からが都合をつけやすいようですので、お願いします。

石原課長： わかりました。ではまた調整させていただきます。

よろしくお願いします。

小倉会長： では、これで閉会します。